



# 人的資本経営 会社ランキング 2023

## 人事部が選出



花 王



ファーストリテイリング



カゴメ



サントリーホールディングス

### お問い合わせ先

学校法人産業能率大学 総合研究所 マーケティングセンター

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

Tel: 03-5758-5117 Mail: sanno-souken@hj.sanno.ac.jp

## 調査概要

- ◆調査期間 2023年5月22日～6月13日
- ◆調査方法 インターネット調査
- ◆調査対象 日本企業の人事部・人材育成担当者・責任者
- ◆有効回答 246件

学校法人産業能率大学総合研究所（東京都世田谷区、以下本学）は、企業の人事・教育担当者を対象に、「人的資本経営が進んでいる日本企業」を調査しました。回答は自由記述により246人から得られ、人的資本経営が進んでいると感じる日本企業として75社の会社名があがりました。

結果、人的資本経営が進んでいる企業の1位として、花王株式会社を選出されました。

同社は、経済産業省が公開している人的資本経営の「実践事例集」の中に、花王の「社員の活力の最大化に向けた事例」が紹介されています。それらを読んだ人事担当者が投票した他、製品イメージや環境への取り組み、コンプライアンス機能の充実など、企業経営の姿勢が評価されたようです。

2位には、株式会社ファーストリテイリングが選ばれました。

選出理由には、同社の柳井正会長兼社長が「日本の賃金はあまりに低すぎる」として、今年の3月から国内従業員の年収を最大約40%引き上げたことに対する影響が大きいでしょう。多くの人事担当者が「賃上げ」を選出理由にあげていました。その他にも同社のグローバル経営や採用戦略の成功も理由にあげていました。

3位には、カゴメ株式会社が選ばれました。

選出理由には、同社の常務執行役員CHO（最高人事責任者）の有沢正人氏の存在が大きいようです。有沢氏は同社の人事制度改革を牽引し、その成功事例を多くのメディアを通じて発信しており、それらを見聞きした人事担当者が投票されていました。CHOとしての仕事ぶりや先進的な取り組み事例が票を集めたようです。

同じく3位には、サントリーホールディングス株式会社が選ばれました。

選出理由には、ダイバーシティ推進やESGへの取り組みが評価されたほか、同社の新浪剛史社長のリーダーシップや「45歳定年制」のインパクトある発言など、人事担当者にとって好印象のイメージがあるようです。

詳細は「人的資本経営 会社ランキング TOP10」をご参照ください。

# ★人的資本経営 会社ランキング TOP10

## 主な選出理由

誤字修正を除き回答者が記入した原文のまま掲載しています。

※敬称略

順位	企業名	主な選出理由
1位 (20票)	花王株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人的資本、法務機能・コンプライアンス機能等が充実している</li> <li>●人財戦略をESG経営の重要な戦略として据えている</li> <li>●取り組みが地球環境をかなり意識している</li> <li>●10年以上前から、人を活かし、大切にしている企業である</li> <li>●メディアやベストプラクティスの情報活動を拝見して</li> <li>●事例を見聞きしたことがあるため ●製品のイメージから</li> </ul>
2位 (19票)	株式会社 ファーストリテイリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●賃上げを率先して行い、従業員のモチベーション向上に努めている</li> <li>●賃上げ宣言は衝撃的。日本全体として好循環なサイクルをリードしている</li> <li>●社員化、賃上げなど明確に発信し、採用ブランディングにも成功している</li> <li>●小売業としての人材活用術に優れている</li> <li>●国内企業に気を遣うことなくグローバルにあるべき姿を遂行している</li> </ul>
3位 (15票)	カゴメ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人的資本経営ブーム前から、経営戦略とリンクした人材戦略を進めている</li> <li>●人材育成や評価制度がしっかりしている</li> <li>●人事施策が上から下まで浸透していて、目標管理が公開されている。</li> <li>●人事担当役員がさまざまなセミナーなどに登壇し情報開示に積極的なため</li> <li>●戦略人事とサステナブル人事を両立させ、人的資本経営を実現してきたから</li> </ul>
3位 (15票)	サントリーホールディングス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人的資本に対し発想転換をトップ自らが発信、先進的企業というイメージ</li> <li>●早期定年制の提言など驚かされる</li> <li>●人事部のダイバーシティ推進の方の取り組みが先進的</li> <li>●ESGなどの取り組みを積極的に行っている印象がある</li> <li>●多様な働き方を実現できる制度が整備されている印象があるため</li> </ul>
5位 (14票)	伊藤忠商事株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人的資本経営に関連する記事でよく名前を拝見する</li> <li>●学生の就職ランキングで常に上位、優秀な人材を輩出しているイメージ</li> <li>●働きやすさをトップダウンで実行している</li> <li>●経営基盤がしっかりしているから</li> </ul>
6位 (13票)	株式会社サイバーエージェント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人事制度や組織体制も従業員が主体的に意思決定できる制度設計</li> <li>●フレキシブルに労働条件を認め、労働環境を整備しているイメージがある</li> <li>●新規事業が次々生み出されており、人が育つ仕組みがある</li> <li>●IT業界は人材次第。だから人事施策に対して力を入れていたと思う</li> </ul>
7位 (10票)	旭化成株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仕事上で会う人がそれぞれ自社のことを考え真摯に変革に取り組んでいる</li> <li>●人的資本経営に積極的なイメージがある</li> <li>●経営基盤がしっかりしているから</li> </ul>
8位 (9票)	株式会社丸井グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データに基づく先進的な取り組みを行っている</li> <li>●TOPのウェルビーイング経営に共感</li> <li>●課題を明確にし、解決に向けたストーリーがわかりやすく開示されている</li> </ul>
9位 (8票)	SOMPOホールディングス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パーパス経営が徹底され、従業員の行動変容が生まれていると考える</li> <li>●情報の開示と賃上げの実績</li> <li>●人的資本経営の事例をよく見るため</li> </ul>
10位 (7票)	トヨタ自動車株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業努力をしっかりとっており社員が一丸となって向き合っているイメージ</li> <li>●あらゆる面でよく構想が練られており手本となる</li> <li>●毎年、日本企業No1である</li> </ul>

## 【産能大について】

---

学校法人 産業能率大学は、学生教育事業と社会人教育事業を併せ持った大学で、1925年の創設以来、「マネジメント教育を通じた人材の育成」に努めています。

総合研究所は、そのうちの社会人教育事業を担い、通信研修、eラーニング、集合研修、公開セミナー、コンサルティング業務等のサービスを日本全国の約1万事業所に提供しています。

---

お問い合わせ先

学校法人産業能率大学 総合研究所 マーケティングセンター  
〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

Tel: 03-5758-5117 Mail: sanno-souken@hj.sanno.ac.jp